



やまざきまさゆき
山崎正行

しみんくらぶ
市民クラブ

団地開発と商業施設オープンに伴う諸問題

問 一志地域の学校再編が来年度実施される。また、平成26年夏に予定されている商業施設の開店と重なり、「とことめの里一志」周辺の交通事情が激変する。信号交差点の通学路線等の改良はされたが、児童・生徒は初めての通学路であり、大変危険を伴うため、スクールバスの運行と合わせて、県道・市道での安全な通学に細心の注意と、再度の検証を強く求める。

答 平成26年4月の開校に向けて高岡小学校周辺の通学路の安全対策としては、大井地区からの徒歩通学による30人の児童は、新たな住宅団地内を通学路とすること、商業施設ができることから上がってくる坂道については、スクールバスも通る予定であることから、車道と歩道を区別するポール等を設置する。また、徒歩通学の児童が登下校する時間とスクールバスの通る時間が重ならないようにすることなどを検討している。学校再編を実施する前には、スクールバスの試行運転も行い、高岡小学校周辺の団地開発の進捗状況もしっかり見きわめながら、関係部局と連携し、保護者や地域の方にもご協力をいただき、子どもたちの安全に万全を期したい。

●その他の質疑・質問●

- 雲出川大仰河川敷の景観を生かした利活用は
- 小学校再編後の地域が元気と活力の出るまちづくりは
- 南海トラフ等、大災害発生時の陸路封鎖等を想定した大型艦艇による避難訓練の実施は
- 環境美化条例と地球温暖化防止へ、ポイ捨て防止も含めて検討を



▲交通事情の激変が予想される信号交差点



まえだかつひこ
前田勝彦

けんとからぶ
県都クラブ

教育について

問 幼児・児童・生徒の教育の充実について、教育委員会として、現場の実態を踏まえ「特別支援教育支援員」の増員・配置について、どのような見解を持っているのか。また、給食費の公会計化について、給食費を公会計として取り扱うための条例の早期制定を行うべきであると考えているが、津市としてどう考えているのか。

答 特別な支援を要する幼児・児童・生徒の増加に伴い、平成25年度は134名の特別支援教育支援員を配置している。また、指導者の専門性と資質の向上を図るとともに、学校サポートセンターのサポーターの訪問や福祉関係機関との連携も強化し、学校支援に取り組んでいる。支援員の配置は重要な課題と捉えており、今後も子ども一人一人に応じたきめ細かな教育の実現に取り組んでいく。給食費の公会計化は、会計情報の公開性を増やすなどの利点がある一方、給食費の同一価格への全市的な統一や学校給食費収納システムの開発など、実施に向けての課題があることから、今後、全国的な動向を注視し、詳細な研究・調整等を行う期間を確保したいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 大規模災害時における中学校の医療拠点化について
 - ・名古屋市の取り組みの評価は
 - ・本市としての実現性は
- 「道の駅」河芸（仮称）について
 - ・今後の事業スケジュールは
 - ・「関心表明受付窓口」の設置についてどのようなPR活動をしているのか。また、今日までの相談件数と相談内容は など



▲教育現場で重要な役割を担う特別支援教育支援員の増員を